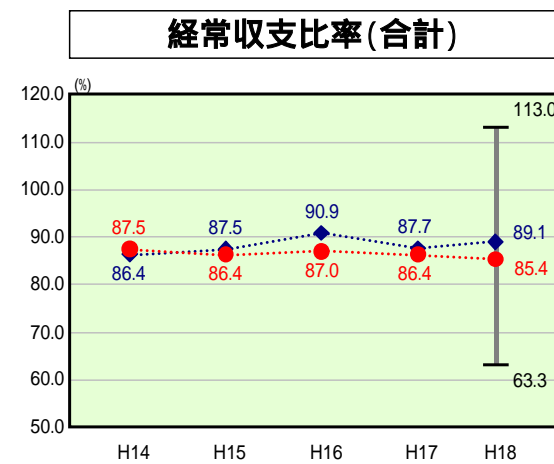


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

沖縄県 宜野座村

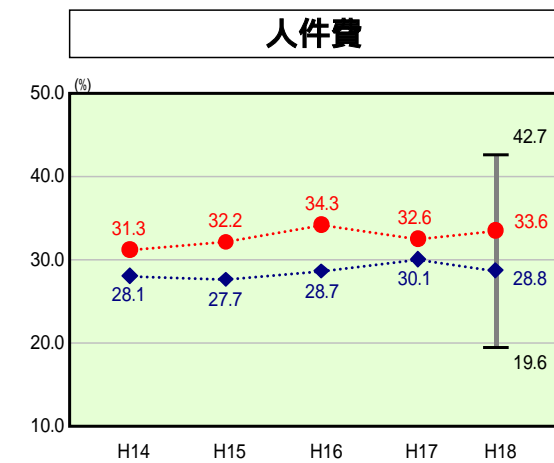
経常収支比率の分析



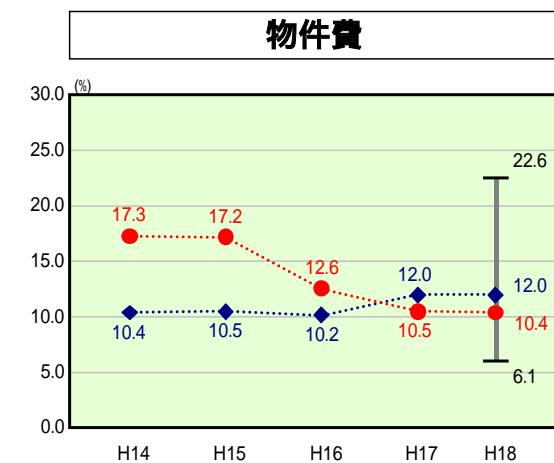
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▮
類似団体内最小値 ▾

人口	5,396人(H19.3.31現在)
面積	31.32 km ²
歳入総額	5,640,644千円
歳出総額	5,531,642千円
実質収支	101,425千円

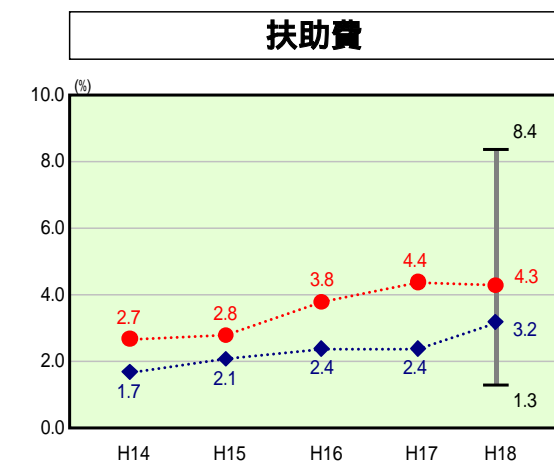
H18類似団体内順位 23/83
全国市町村平均 90.3
沖縄県市町村平均 89.5



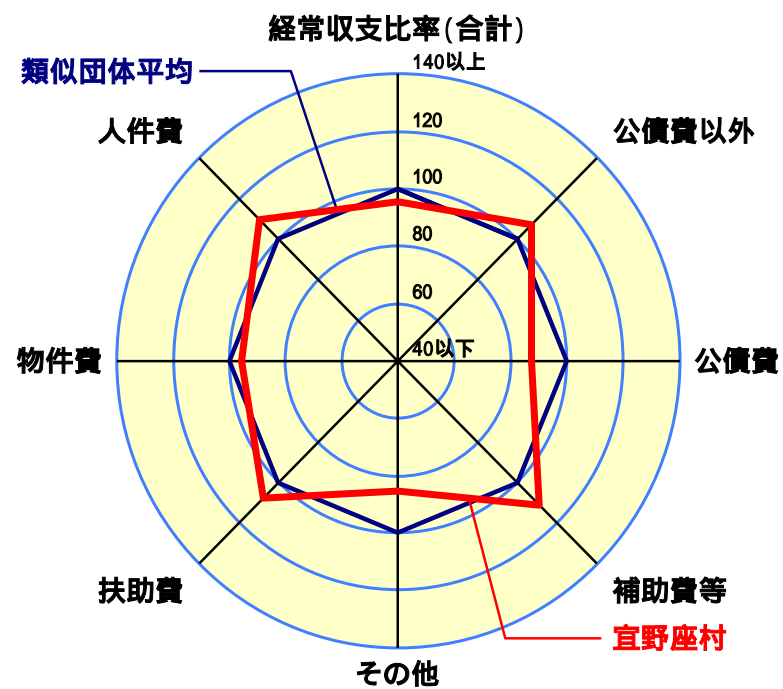
H18類似団体内順位 65/83
全国市町村平均 28.2
沖縄県市町村平均 31.9



H18類似団体内順位 33/83
全国市町村平均 12.9
沖縄県市町村平均 12.0



H18類似団体内順位 65/83
全国市町村平均 8.6
沖縄県市町村平均 10.2



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

経常収支比率：類似団体平均を僅かながら下まわっていますが、この数年ほぼ恒常化している物件費や、事務事業の固定化が課題となっておりますので、各種補助金の削減や行財政改革と併せて目標を立て、その実現を強力に推進し、収支の改善に努めます。

人件費：人件費に係るものは、平成18年度において33.6%と類似団体平均と比べて高い水準にある。これは普通建設部門の職員数が類似団体平均と比較して多い事が要因であり、行政サービスの提供方法の差異によるものである。ただし、退職者の不補充などや、現業部門委託化などをすすめており、平成19年度以降はその効果が現れてくる見込である。

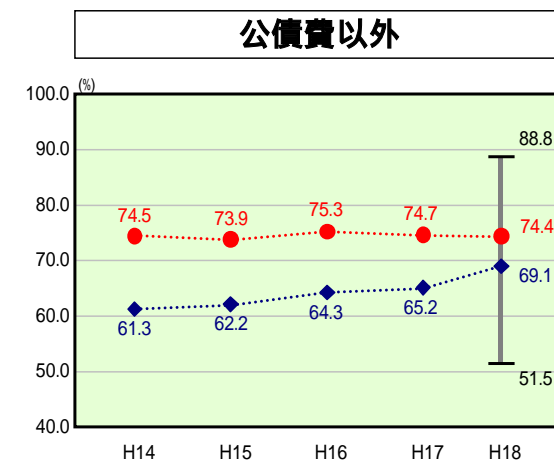
物件費：類似団体平均より低い状況ですが、施設の維持費等は民間委託を進めていかなければ、高止まりのままである状況なので、今後も効果的な財政を圧迫することのないように計画をすすめていく予定です。

扶助費：類似団体平均より高い状況ですが、単独の祝い金や見舞金などがあり、その抑制につとめなければ、減少しないと思われしますので引き続き努力していきます。

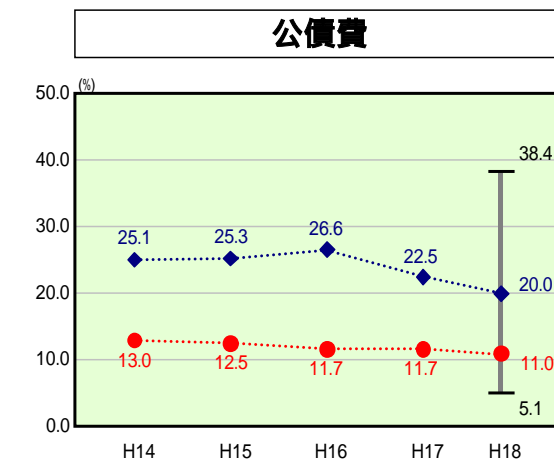
公債費：大型事業がほぼ完了し、起債発行額も極力抑える努力を継続していますので、類似団体平均よりかなり低い状況です。しかしながら、今後共、高率補助を活用した事業を行えるよう検討し、財政を圧迫することのないように計画を進めていく予定です。

補助費等：単独による農業補助金や各種団体等への補助金が多数ありますが、過去3年間に渡り削減を進めてきたところである。また、補助金の適正な活用を厳格に審査し、不適当な補助金の見直しを行う予定です。

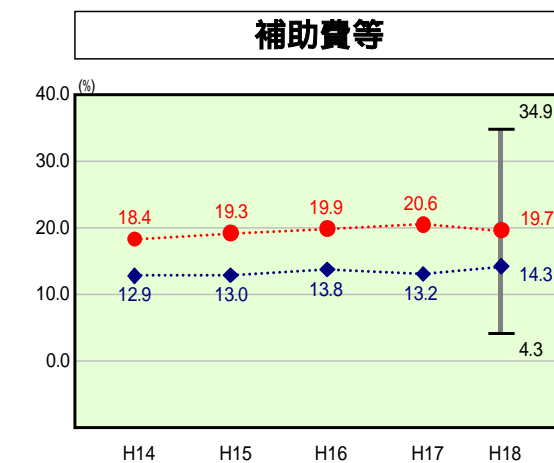
普通建設事業費：事業の特殊性により年度毎に事業費が増減するケースが見られる。また、政策的な普通建設事業の実施により増減額が著しく変動する場合があります。しかし、ハード面の整備事業は殆ど終了してきましたので、今後は住民にとって必要性の高い事業を採択するよう努力し、地域の活性化も考慮しながら事業実施に臨みます。



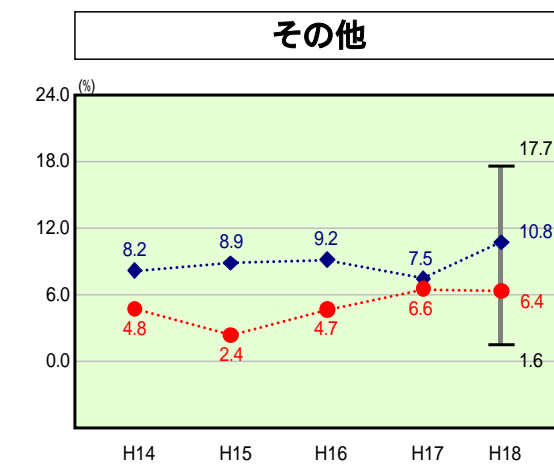
H18類似団体内順位 63/83
全国市町村平均 70.5
沖縄県市町村平均 71.6



H18類似団体内順位 9/83
全国市町村平均 19.8
沖縄県市町村平均 17.9



H18類似団体内順位 72/83
全国市町村平均 10.2
沖縄県市町村平均 7.0



H18類似団体内順位 3/83
全国市町村平均 10.6
沖縄県市町村平均 10.5